



製品概要

Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチファミリーは、冗長電源およびモジュラファンをサポートする固定コアと集約レイヤで構成されています。Cisco Catalyst 9500 シリーズは、次のタイプのダウンリンクポートを備えたスイッチモデルを提供します。

- 400G QSFP-DD の 8 個のポート
- 100G QSFP28 の 16 個、28 個、32 個のポート
- 40G QSFP の 12 個、24 個、32 個のポート
- 25G SFP28 の 24 個、48 個のポート
- 10G SFP/SFP28 の 16 個、24 個、40 個、48 個のポート

Catalyst 9500 シリーズ スイッチは、次の機能のサポートを提供しています。

- アップリンク接続
 - C9500-16X および C9500-40X スイッチで、10G 接続と 40G 接続を提供する SFP および QSFP アップリンクポートを備えたネットワークモジュール。
 - C9500-24Y4C および C9500-48Y4C スイッチで、40G/100G 接続をサポートする QSFP アップリンクポートを修正。
- MACSec-256 および TrustWorthy システムなどの高度なセキュリティ機能。
- SD-Access ソリューションによる、エッジからクラウドへの IoT 統合とポリシーベースの自動化。
- RJ-45、USB ミニタイプ B および USB タイプ C コンソールポート。
- 一部のスイッチモデルでは、コンテナベースのアプリケーションホスティング用に SATA SSD ストレージをサポート。
- [スイッチモデル \(2 ページ\)](#)
- [前面パネル \(4 ページ\)](#)
- [背面パネル \(18 ページ\)](#)

スイッチ モデル

表 1: スイッチ モデル : ベース PID

スイッチ モデル	説明
Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ	
C9500-12Q	12 個の 40 ギガビットイーサネット QSFP+ ポートと 2 個の電源スロット
C9500-24Q	24 個の 40 ギガビットイーサネット QSFP+ ポートと 2 個の電源スロット
C9500-16X	16 個の 10 ギガビットイーサネット SFP/SFP+ ポートと 2 個の電源スロット。アップリンクポート上のオプションのネットワークモジュールのサポート (8 個の 10 ギガビットイーサネット (SFP/SFP+) および 2 個の 40 ギガビットイーサネット (QSFP+))
C9500-40X	40 個の 10 ギガビットイーサネット SFP/SFP+ ポートと 2 個の電源スロット。アップリンクポート上のオプションのネットワークモジュールのサポート (8 個の 10 ギガビットイーサネット (SFP/SFP+) および 2 個の 40 ギガビットイーサネット (QSFP+))
Cisco Catalyst 9500 シリーズ高性能スイッチ	
C9500-32C	32 個の 40G/100G QSFP28 ポートと 2 個の電源スロット
C9500-32QC	32 個の 40G または 16 個の 100G QSFP28 ポートと 2 個の電源スロット
C9500-24Y4C	24 個の 1G/10G/25G SFP28 ポートと 2 個の電源スロット。4 個の 40G/100G QSFP28 固定アップリンクポート
C9500-48Y4C	48 個の 1G/10G/25G SFP28 ポートと 2 個の電源スロット。4 個の 40G/100G QSFP28 固定アップリンクポート

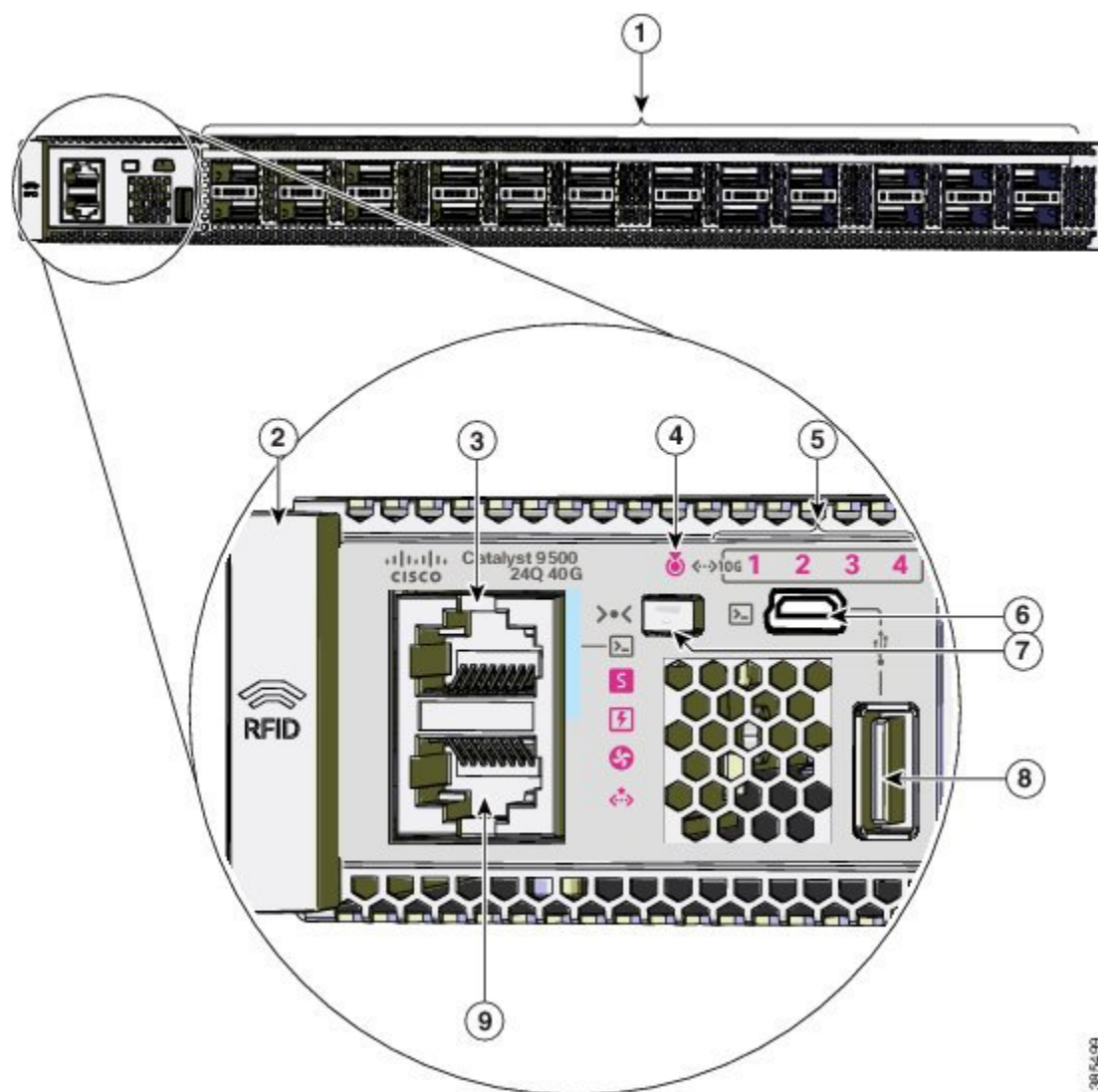
表 2: スイッチ モデル : バンドル PID

スイッチ モデル	説明
C9500-16X-2Q	アップリンクポート上の 16 個の 10 ギガビットイーサネット SFP/SFP+ ポートと 2 個の 40 ギガビットイーサネット (QSFP+) ネットワークモジュール。および 2 個の電源スロット

スイッチモデル	説明
C9500-40X-2Q	アップリンクポート上の 40 個の 10 ギガビットイーサネット SFP/SFP+ ポートと 2 個の 40 ギガビットイーサネット (QSFP+) ネットワークモジュール。および 2 個の電源スロット
C9500-24X	アップリンクポート上の 16 個の 10 ギガビットイーサネット SFP/SFP+ ポートと 8 個の 10 ギガビットイーサネット (SFP/SFP+) ネットワークモジュール。および 2 個の電源スロット
C9500-48X	アップリンクポート上の 40 個の 10 ギガビットイーサネット SFP/SFP+ ポートと 8 個の 10 ギガビットイーサネット (SFP/SFP+) ネットワークモジュール。および 2 個の電源スロット

前面パネル

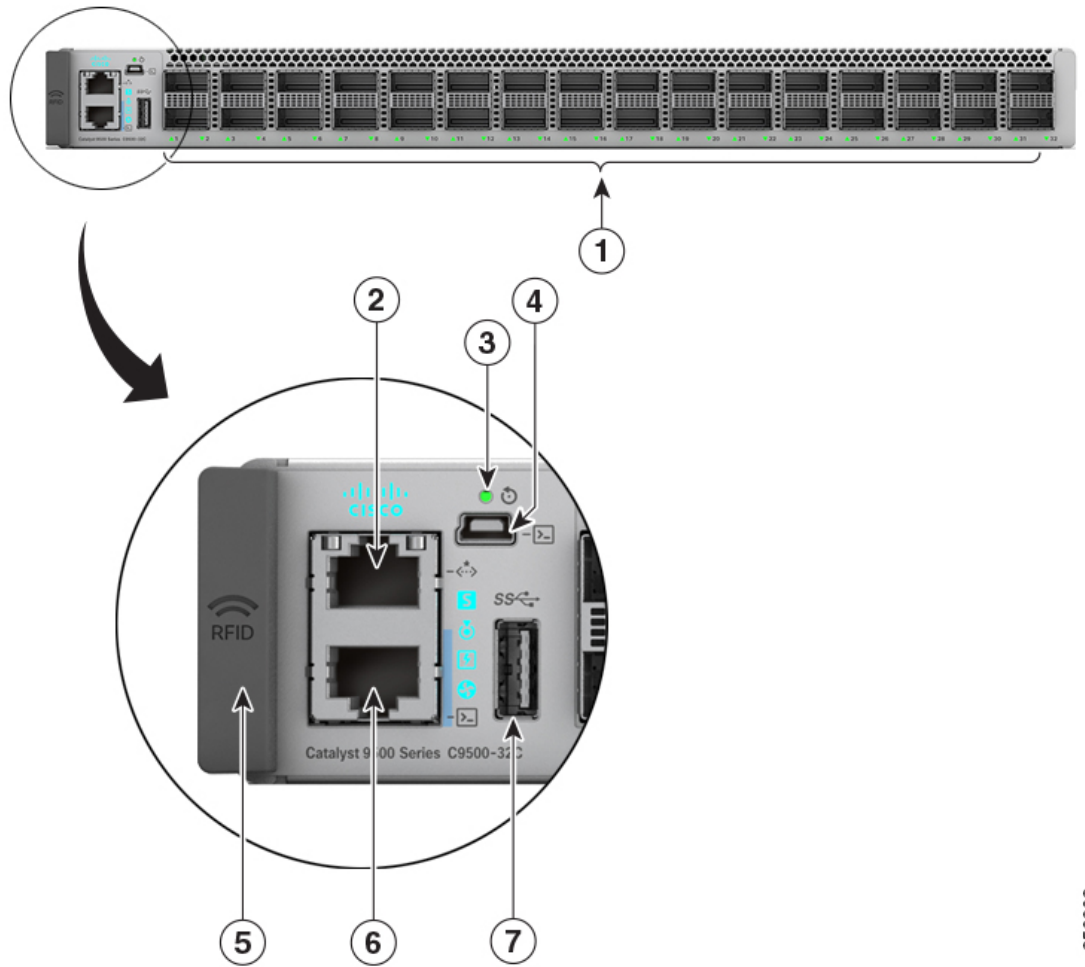
図 1: 24 ポート Cisco Catalyst 9500 スイッチの前面パネル



385499

1	40G QSFP ポート X 24	6	USB ミニタイプ B コンソール ポート
2	RFID	7	モード ボタン
3	コンソールポート (RJ-45 シリアル)	8	USB 2.0 ホスト ポート
4	青色ビーコン LED	9	イーサネット管理 RJ-45 ポート
5	10G ステータス LED		

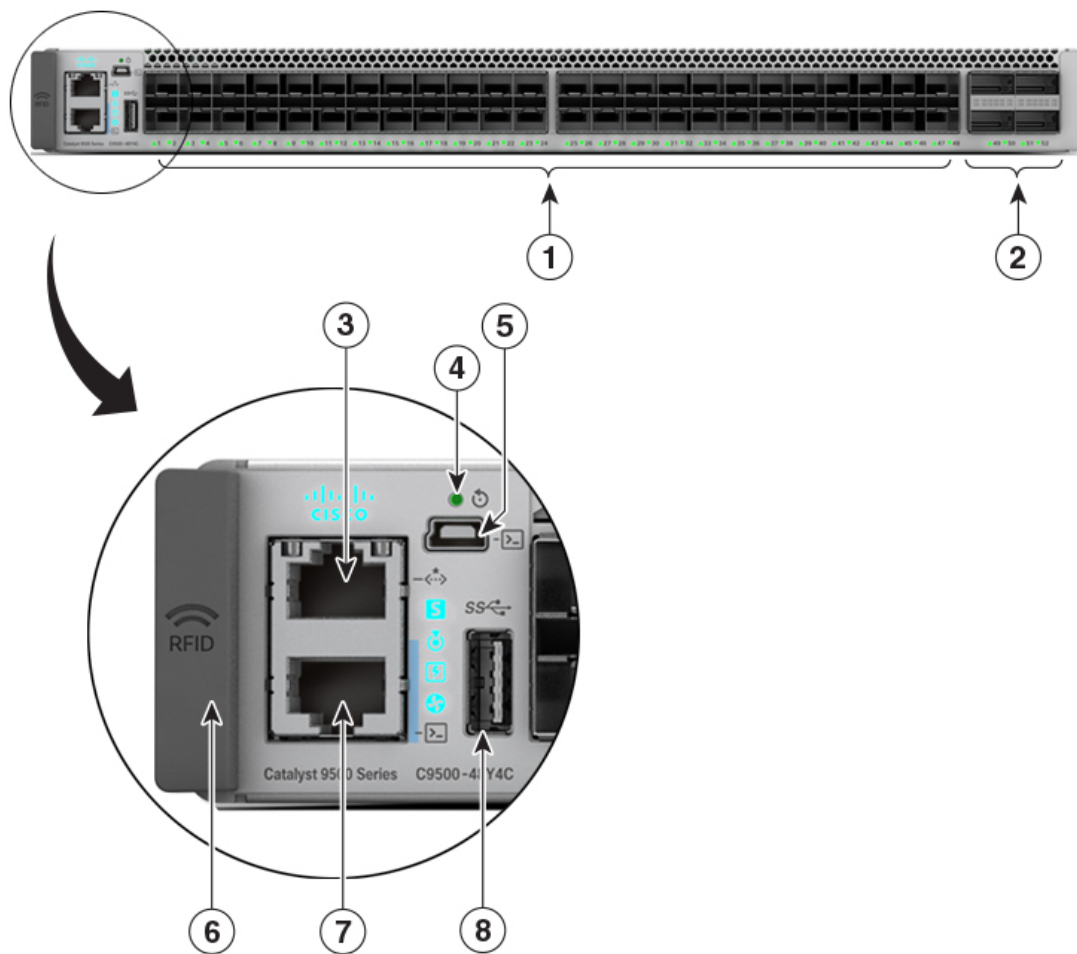
図 2 : Cisco Catalyst 9500 ハイパフォーマンススイッチの前面パネル (C9500-32C)



1	32 個の 40G/100G QSFP28 ポート	5	RFID
2	イーサネット管理ポート	6	コンソールポート (RJ-45 シリアル)
3	リセット ボタン	7	USB 3.0 ホストポート
4	USB ミニタイプ B コンソールポート		

356903

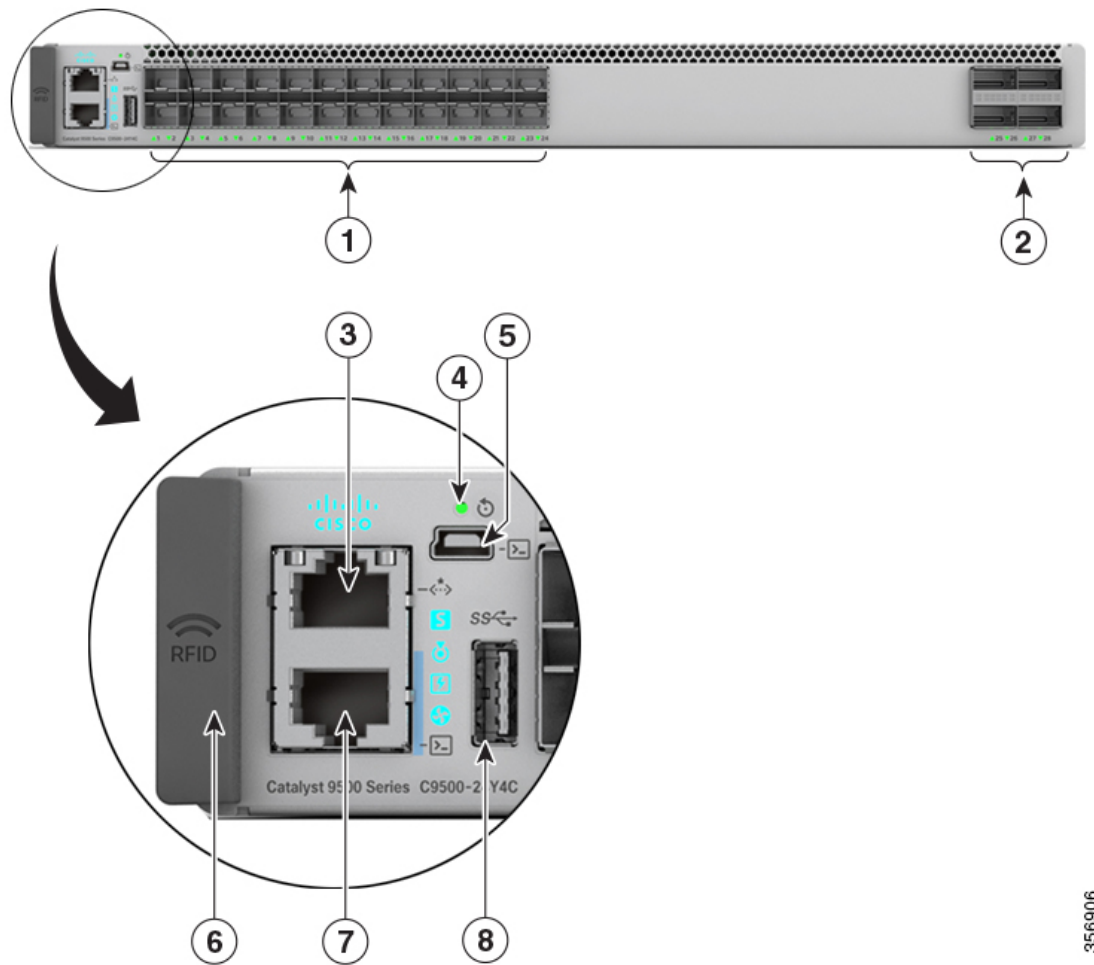
図 3: 48ポート Cisco Catalyst 9500 ハイ パフォーマンス スイッチの前面パネル (C9500-48Y4C)



356905

1	48 個の 1G/10G/25G SFP28 ポート	5	USB ミニタイプ B コンソール ポート
2	アップリンク ポート	6	RFID
3	イーサネット管理ポート	7	コンソール ポート (RJ-45 シリアル)
4	リセット ボタン	8	USB 3.0 ホストポート

図 4:24 ポート Cisco Catalyst 9500 ハイ パフォーマンス スイッチの前面パネル (C9500-24Y4C)



1	24 個の 1G/10G/25G SFP28 ポート	5	USB ミニタイプ B コンソール ポート
2	アップリンク ポート	6	RFID
3	イーサネット管理ポート	7	コンソール ポート (RJ-45 シリアル)
4	リセット ボタン	8	USB 3.0 ホストポート

SFP および QSFP モジュール ポート

SFP モジュールおよび QSFP モジュールは、銅線または光ファイバ接続を使用して他の装置と接続できます。Cisco Catalyst 9500 シリーズスイッチの SFP および QSFP モジュールポートは、次のとおりです。

表 3: Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチモデル

スイッチ モデル	サポートされるポート
Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ	
C9500-12Q	標準の 12x40G QSFP+ モジュールをサポートしています。
C9500-24Q	標準の 24x40G QSFP+ モジュールをサポートしています。
C9500-16X	標準の 16x10G SFP モジュールをサポートしています。 アップリンクポートは、8x10G SFP/SFP+モジュールと 2x40G QSFP モジュールをサポートしています。
C9500-40X	標準の 40x10G SFP モジュールをサポートしています。 アップリンクポートは、8x10G SFP/SFP+モジュールと 2x40G QSFP モジュールをサポートしています。
Cisco Catalyst 9500 シリーズ高性能スイッチ	
C9500-32C	標準の 32x100G または 32x40G QSFP28 モジュールをサポートしています。すべてのポートが 100G/40G 対応です。
C9500-32QC	標準の 16x100G または 32x40G QSFP28 モジュールをサポートしています。一番上の行のポートだけが 100G 対応です。
C9500-24Y4C	標準の 24x25G または 24x10G SFP28 モジュールをサポートしています。すべてのポートが 25G/10G/1G 対応です。 アップリンクポートは 4x100G または 4x40G QSFP+ モジュールをサポートしています。
C9500-48Y4C	標準の 48x25G または 48x10G SFP28 モジュールをサポートしています。すべてのポートが 25G/10G/1G 対応です。 アップリンクポートは 100G X 4 または 40G X 4 の QSFP28 モジュールをサポートしています。



(注) SFP と QSFP ネットワークモジュールについては、[ネットワーク モジュール \(17 ページ\)](#) を参照してください。

ブレイクアウトケーブルをサポート

Cisco Catalyst 9500 シリーズ ハイパフォーマンススイッチでは、ブレイクアウトケーブルは C9500-32C モデルでのみサポートされています。ブレイクアウトケーブルを使用すると、単一の 40G QSFP+ インターフェイスを 4 つの 10G SFP+ インターフェイスに分割し、単一の 100G QSFP28 インターフェイスを 4 つの 25G SFP28 インターフェイスに分割できます。

サポートされる SFP および QSFP モジュールについては、<https://tmgmatrix.cisco.com/> で Cisco トランシーバモジュールの互換性情報を参照してください [英語]。

Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチのポートマッピング

奇数番号のポートは上段、偶数番号のポートは下段にあります。次の図に、スイッチの各モデルにおけるポートと LED の番号割り当てを示します。この項では、ブレイクアウトケーブルを使用して 4 個の 10G ポートとして動作するように 40G ポートを設定する場合の、スイッチの 40G ポートと 10G ポートとの間のポートマッピングについても説明します。

C9500-12Q

図 5: 40G ネイティブのポートの番号付け

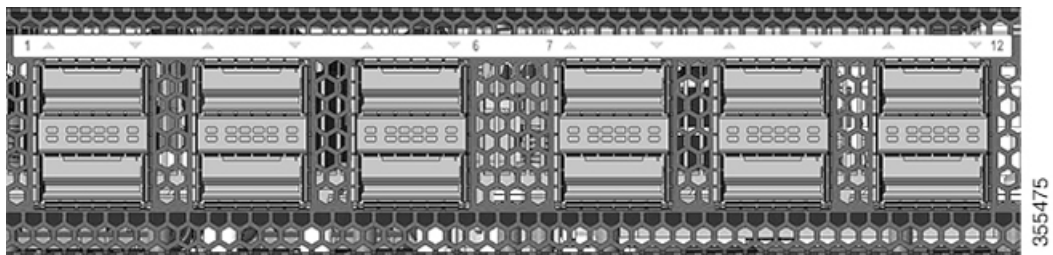


表 4: C9500-12Q のポートマッピング

40 ギガビット ネイティブ ポート	ブレイクアウトケーブル付きの設定可能な 10 ギガビットポート
1	1、2、3、4
2	5、6、7、8
3	9、10、11、12
4	13、14、15、16
5	17、18、19、20
6	21、22、23、24
7	25、26、27、28
8	29、30、31、32
9	33、34、35、36
10	37、38、39、40
11	41、42、43、44
12	45、46、47、48

C9500-24Q

図 6: 40G ネイティブのポートの番号付け



表 5: C9500-24Q のポート マッピング

40 ギガビット ネイティブ ポート	ブレイクアウトケーブル付きの設定可能な 10 ギガビットポート
1	1、2、3、4
2	5、6、7、8
3	9、10、11、12
4	13、14、15、16
5	17、18、19、20
6	21、22、23、24
7	25、26、27、28
8	29、30、31、32
9	33、34、35、36
10	37、38、39、40
11	41、42、43、44
12	45、46、47、48
13	49、50、51、52
14	53、54、55、56
15	57、58、59、60
16	61、62、63、64
17	65、66、67、68
18	69、70、71、72
19	73、74、75、76

40 ギガビット ネイティブ ポート	ブレイクアウトケーブル付きの設定可能な 10 ギガビットポート
20	77、78、79、80
21	81、82、83、84
22	85、86、87、88
23	89、90、91、92
24	93、94、95、96

C9500-16X

図 7: 10G ネイティブのポートの番号付け

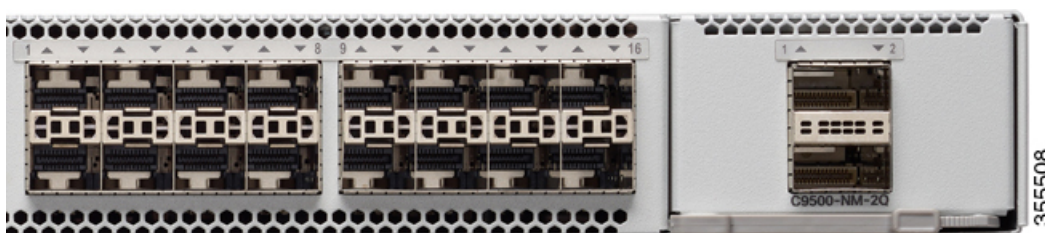


表 6: C9500-16X のポートマッピング

40 ギガビット アップリンク ポート	ブレイクアウトケーブル付きの設定可能な 10 ギガビットポート
17	1、2、3、4
18	5、6、7、8

C9500-40X

図 8: 10G ネイティブのポートの番号付け



表 7: C9500-40X のポートマッピング

40 ギガビット アップリンク ポート	ブレイクアウトケーブル付きの設定可能な 10 ギガビットポート
41	1、2、3、4

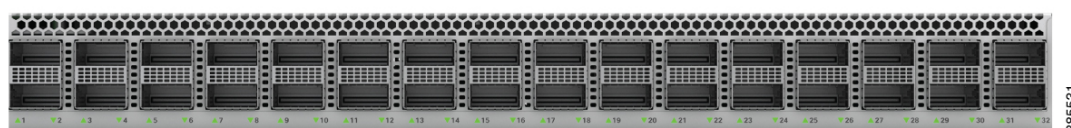
40 ギガビット アップリンク ポート	ブレークアウトケーブル付きの設定可能な 10 ギガビットポート
42	5、6、7、8

Cisco Catalyst 9500 シリーズ高性能スイッチのポートマッピング

次の図は、異なる Cisco Catalyst 9500 シリーズ高性能スイッチのポート番号の割り当て方法を示しています。

C9500-32C

図 9: C9500-32C のネイティブポートの番号付け



32 個のポートはすべて 100G または 40G として設定できます。

ポート タイプ	スイッチのポート番号
100G ネイティブポート	1 ~ 32
40G ネイティブポート	1 ~ 32

ブレークアウトは、C9500-32C スイッチモデルの 24 ポートでのみサポートされます。C9500-32C の 4 番目のポートはすべて、ASIC の制限によりブレークアウトをサポートしていません。ポート番号 4、8、12、16、20、24、28、32 は、ブレークアウトをサポートしていません。ネイティブポートでブレークアウトを有効にすると、ポートの番号付け規則が 3 タプルから 4 タプルに変更されます。たとえば、Hu1/0/2 として表されるポート番号 2 でブレークアウトを有効にすると、Hu1/0/2/1、Hu1/0/2/2、Hu1/0/2/3、Hu1/0/2/4 として表される 4 つの論理ポートが作成されます。

表 8: C9500-32C のポートマッピング

40G/100G ネイティブポート	ブレークアウトケーブル付きの設定可能な 10G/25G ポート	40G/100G ネイティブポート	ブレークアウトケーブル付きの設定可能な 10G/25G ポート
1	1/0/1/1、1/0/1/2、1/0/1/3、1/0/1/4	17	1/0/17/1、1/0/17/2、1/0/17/3、1/0/17/4
2	1/0/2/1、1/0/2/2、1/0/2/3、1/0/2/4	18	1/0/18/1、1/0/18/2、1/0/18/3、1/0/18/4
3	1/0/3/1、1/0/3/2、1/0/3/3、1/0/3/4	19	1/0/19/1、1/0/19/2、1/0/19/3、1/0/19/4

40G/100G ネイティブポート	ブレイクアウトケーブル付きの設定可能な 10G/25G ポート	40G/100G ネイティブポート	ブレイクアウトケーブル付きの設定可能な 10G/25G ポート
4	N/A	20	N/A
5	1/0/5/1、1/0/5/2、1/0/5/3、1/0/5/4	21	1/0/21/1、1/0/21/2、1/0/21/3、1/0/21/4
6	1/0/6/1、1/0/6/2、1/0/6/3、1/0/6/4	22	1/0/22/1、1/0/22/2、1/0/22/3、1/0/22/4
7	1/0/7/1、1/0/7/2、1/0/7/3、1/0/7/4	23	1/0/23/1、1/0/23/2、1/0/23/3、1/0/23/4
8	N/A	24	N/A
9	1/0/9/1、1/0/9/2、1/0/9/3、1/0/9/4	25	1/0/25/1、1/0/25/2、1/0/25/3、1/0/25/4
10	1/0/10/1、1/0/10/2、1/0/10/3、1/0/10/4	26	1/0/26/1、1/0/26/2、1/0/26/3、1/0/26/4
11	1/0/11/1、1/0/11/2、1/0/11/3、1/0/11/4	27	1/0/27/1、1/0/27/2、1/0/27/3、1/0/27/4
12	N/A	28	N/A
13	1/0/13/1、1/0/13/2、1/0/13/3、1/0/13/4	29	1/0/29/1、1/0/29/2、1/0/29/3、1/0/29/4
14	1/0/14/1、1/0/14/2、1/0/14/3、1/0/14/4	30	1/0/30/1、1/0/30/2、1/0/30/3、1/0/30/4
15	1/0/15/1、1/0/15/2、1/0/15/3、1/0/15/4	31	1/0/31/1、1/0/31/2、1/0/31/3、1/0/31/4
16	N/A	32	N/A

ブレイクアウト インターフェイスの設定方法の詳細については、『Interface and Hardware Components Configuration Guide』の「Configuring Breakout Interfaces」の項を参照してください。

C9500-32QC

図 10: C9500-32QC のネイティブポートの番号付け



ポートタイプ	スイッチのポート番号
40G ネイティブポート	1 ~ 32
100G ネイティブポート	33 ~ 48

このスイッチの 40G ポートは、コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して 100G ポートとして機能するように設定できます。モード変換の詳細については、『*Interface and Hardware Components Configuration Guide*』の「*Configuring Interface Characteristics*」を参照してください。

C9500-24Y4C

図 11: C9500-24Y4C のネイティブポートの番号付け



ポートタイプ	スイッチのポート番号
25G ネイティブポート	1 ~ 24
40G または 100G ネイティブポート	25 ~ 28

C9500-48Y4C

図 12: C9500-48Y4C のネイティブポート番号



ポートタイプ	スイッチのポート番号
25G ネイティブポート	1 ~ 48
40G または 100G ネイティブポート	49 ~ 52

RFID タグ

シャーシは、前面に向けたパッシブ RFID タグを内蔵しています。タグは UHF RFID 技術を使用しているため、互換性のあるソフトウェアを搭載した RFID リーダが必要です。RFID タグの自動識別機能により、アセットの管理やトラッキングが実現します。RFID タグは Generation 2 GS1 EPC 国際規格と互換性があり、ISO 18000-6C に準拠しています。動作帯域は 860 ~ 960

MHz (UHF) です。詳細については、『[Radio Frequency Identification \(RFID\) on Cisco Catalyst 9000 Family Switches White Paper](#)』を参照してください。

コンソールポート

コンソールポートは、Microsoft Windows を実行している PC またはターミナル サーバーにスイッチを接続します。

- RJ-45 コンソールポート (EIA/TIA-232)。RJ-45 コンソールポートの接続には、RJ-45/DB-9 メス ケーブルを使用します。
- USB ミニタイプ B コンソールポート (5 ピン コネクタ)。
- USB-C コンソールポート

USB ミニタイプ B ポートまたは USB-C コンソールポートを使用する場合は、(Microsoft Windows での動作のため) コンソールに接続されたすべての PC に Cisco Windows USB デバイスドライバをインストールする必要があります。Mac OS X と Linux には、特別なドライバは必要ありません。

4 ピン ミニタイプ B コネクタは 5 ピン ミニタイプ B コネクタと似ていますが、これらに互換性はありません。5 ピン ミニタイプ B 以外は使用しないでください。

次の図は、5 ピン ミニタイプ B USB ポートを示しています。

図 13: USB Mini タイプ B ポート

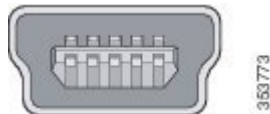
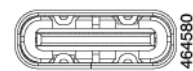


図 14: USB-C コンソールポート



Cisco Windows USB デバイス ドライバでは、Windows の HyperTerminal の動作に影響を与えることなく、USB ケーブルをコンソールポートに接続または接続解除することができます。

コンソール出力は、常に RJ-45 および USB コンソール コネクタの両方に送られますが、コンソール入力は、一方のコンソールコネクタだけがアクティブになります。USB コンソールは、RJ-45 コンソールよりも優先されます。ケーブルが USB コンソールポートに接続されているときは、RJ-45 コンソールポートが非アクティブになります。逆に、USB ケーブルを USB コンソールポートから取り外すと、RJ-45 ポートがアクティブになります。

コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、非アクティブタイムアウトを設定できます。これを設定すると、USB コンソールがアクティブになっている場合、指定された時間内に USB コンソールで入力アクティビティが発生しないと、RJ-45 コンソールが再度アクティブ化されます。

非アクティブが原因で USB コンソールが非アクティブ化された後は、CLI を使用して再アクティブ化できません。USB コンソールを再アクティブ化するには、USB ケーブルを取り外して再接続してください。CLI を使用して USB コンソールインターフェイスを設定する方法については、Catalyst9500 のソフトウェア コンフィギュレーションガイドを参照してください。

管理ポート

Gi0/0 または GigabitEthernet0/0 ポートとも呼ばれるイーサネット管理ポートは、PC を接続する VRF (VPN ルーティング/転送) インターフェイスです。TFTP イメージのダウンロード、ネットワーク管理、SNMP、Telnet、SSH 接続をサポートしています。スイッチは、Mgmt-vrf を介してアウトオブバンド管理をサポートしています。スイッチのグローバルルーティング テーブルから管理トラフィックをセグメント化するために Mgmt-vrf が使用されます。イーサネット管理ポートは、10/100/1000 Mbps までの速度をサポートし、自動ネゴシエーションに設定されています。

USB ホストポート

USB ホストポートを使用して、フラッシュドライブなどのさまざまな USB デバイスをスイッチに接続できます。USB 2.0 ポートは、128 MB ~ 8 GB の容量の Cisco USB フラッシュドライブをサポートします (ポート密度が 128 Mb、256 MB、1 GB、4 GB、8 GB の USB デバイスがサポートされます)。USB 3.0 ポートは、64 MB ~ 16 GB の容量の Cisco USB フラッシュドライブをサポートします。Cisco IOS ソフトウェアは、フラッシュデバイスに対する標準ファイルシステムアクセス (読み取り、書き込み、消去、コピー) を提供するとともに、フラッシュデバイスを FAT ファイルシステムでフォーマットする機能を提供します。

USB ホストポートは、次のようにスイッチの前面または背面にあります。

- Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ：前面パネルに USB 2.0 ポート、背面パネルに USB 3.0 ポート。
- Cisco Catalyst 9500 シリーズ ハイパフォーマンス スイッチ：前面パネルに USB 3.0 ポート。

モード ボタン

モード ボタンには次の機能があります。

- 青色ビーコン モード：青色ビーコン LED と連動し、スイッチに注意が必要であることを示します
- 10G ステータス LED モード：10G ステータス LED と連動し、10G ポートのステータスを示します

青色ビーコンモード

青色ビーコンモードは、10G ステータス LED モードおよびリセットモードよりも高い優先度を持ちます。青色ビーコン LED は、スイッチに注意が必要なことを示すためにオペレータがプロビジョニングできます。

10G ステータス LED モード

各 40G ポートは、Cisco QSFP を使用する 10G ポートとして機能するように設定できます。Cisco QSFP は 4 本の SFP アクティブ光ブレイクアウト ケーブルに分岐し、スイッチ上の 40G QSFP ポートを他のスイッチ上の 4 つの 10G SFP ポートに接続します。システムの起動後、4 つの 10G ステータス LED はデフォルトで 40G ポート番号 1 にマップする 10G ポート 1～4 のステータスを示します。モード ボタンを短く押すと、40G ポート番号 2 にマップする次の 10G グループ (5～8) にポインタが移動します。モード ボタンを 24 回押すと、96 個の 10G ポートのすべてのステータスを確認できます。その後、10G ポート 1～4 にロールバックされます。

ネットワーク モジュール

C9500-16X および C9500-40X スイッチ モデルは、他のデバイスに接続するためのアップリンク ポートを提供する 2 つのネットワーク モジュールをサポートしています。スイッチは、必ずネットワーク モジュールまたはブランク モジュールのいずれかを取り付けて運用する必要があります。

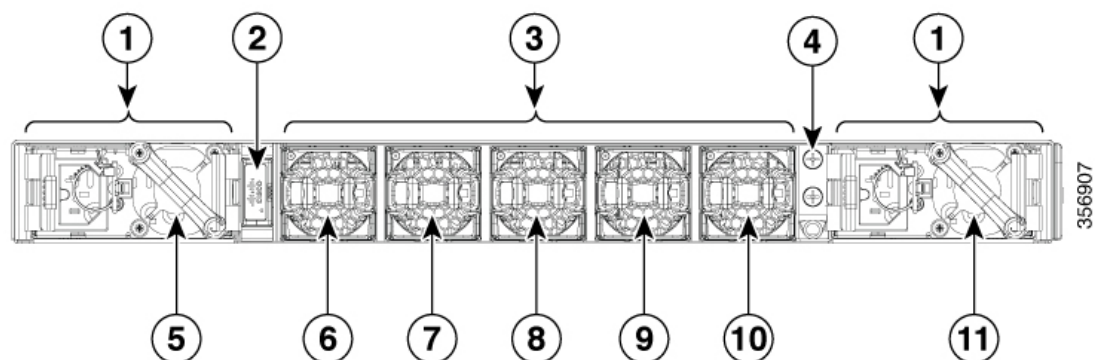
表 9: ネットワーク モジュール

ネットワーク モジュール	説明
C9500-NM-8X	このモジュールには 8 個の 10G SFP ポートがあります。標準の SFP モジュールであればどのような組み合わせでもサポートされます。
C9500-NM-2Q	このモジュールには 2 個の 40G QSFP ポートがあります。標準の QSFP モジュールであればどのような組み合わせでもサポートされます。

ネットワーク モジュールの詳細については、「ネットワーク モジュールの取り付け」の項を参照してください。ケーブルの仕様については、「ケーブルとアダプタ」の項を参照してください。

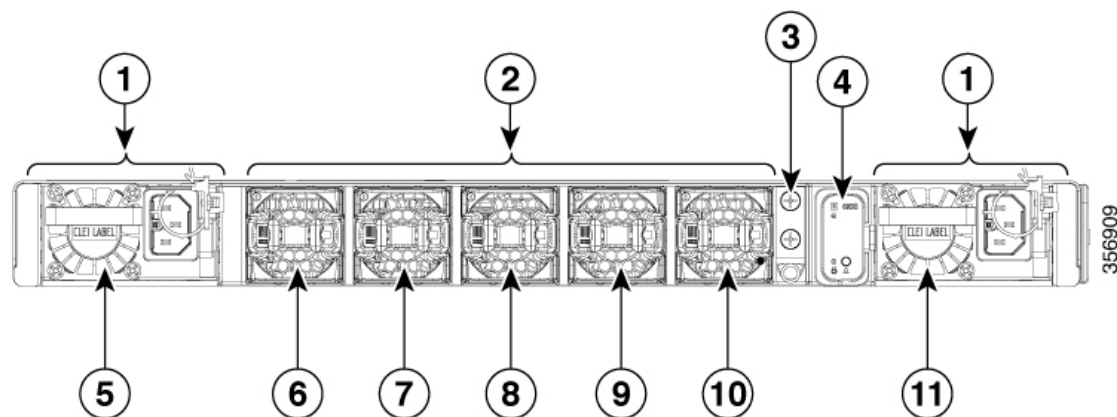
背面パネル

図 15: Cisco Catalyst 9500 スイッチの背面パネル (C9500-12Q、C9500-24Q、C9500-40X、および C9500-16X)



1	電源モジュール	7	Fan 3
2	USB 3.0 ホストポート	8	Fan 2
3	ファン モジュール	9	Fan 1
4	アース パッド	10	Fan 0
5	PSU 1	11	PSU 0
6	Fan 4	-	-

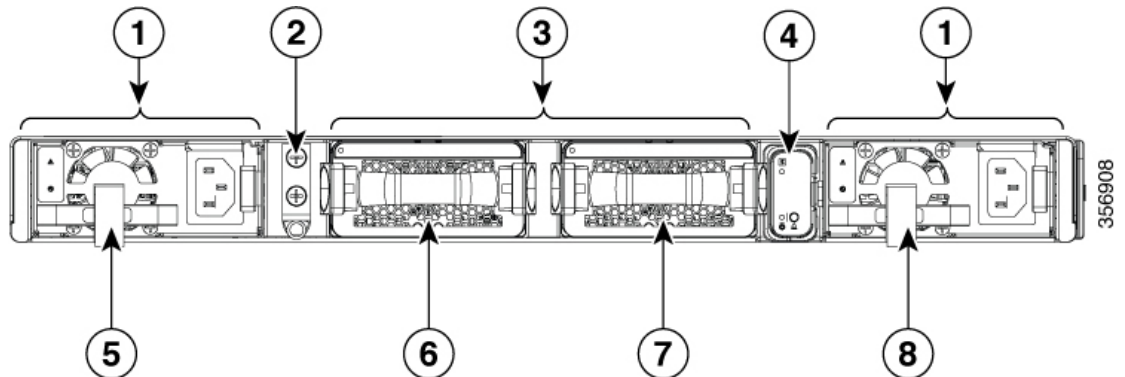
図 16: Cisco Catalyst 9500 ハイ パフォーマンス スイッチの背面パネル (C9500-32C)



1	電源モジュール	7	Fan 3
2	ファン モジュール	8	Fan 2
3	アース パッド	9	Fan 1

4	SATA SSD モジュール	10	Fan 0
5	PSU 1	11	PSU 0
6	Fan 4	-	-

図 17: Cisco Catalyst 9500 ハイ パフォーマンス スイッチの背面パネル (C9500-32QC、C9500-48Y4C、および C9500-24Y4C)



1	電源モジュール	5	PSU 1
2	アース パッド	6	Fan 1
3	ファン モジュール	7	Fan 0
4	SATA SSD モジュール	8	PSU 0

SATA SSD モジュール

スイッチのストレージニーズをサポートするために、Cisco Catalyst 9500 シリーズ ハイパフォーマンス スイッチ およびは、着脱可能な Serial Advanced Technology Attachment (SATA) Solid State Drive (SSD) モジュールのサポートを提供しています。SSD モジュールのストレージ容量の範囲は、240 GB、480 GB、および 960 GB です。SATA SSD は汎用ストレージデバイスとして機能します。ストレージドライブを使用して、パケットキャプチャ、およびオペレーティングシステムによって生成されたトレースログを保存することもできます。

電源スロット

スイッチには、AC および DC 入力電源を受け入れる 2 つの電源スロットがあります。この電源モジュールは Field Replaceable Unit (FRU) であり、ホットスワップ可能です。シャーシの出荷時には、あらかじめ電源スロットに電源モジュールが取り付けられています。電源装置の注文が 1 台のみの場合は、空の電源スロットにブランクカバーが取り付けられています。電源装置を取り付けない場合には、このカバーを取り付けたままにしておく必要があります。

次の表では、さまざまなスイッチモデルでサポートされる内部電源モジュールについて説明します。

表 10: 内部電源モジュール

製品番号	PSU モジュール	サポートされるスイッチ
PWR-C4-950WDC-R	950 W DC 電源モジュール	Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ： C9500-12Q C9500-24Q C9500-40X C9500-16X
PWR-C4-950WAC-R	950 W AC 電源モジュール	
C9K-PWR-650WAC-R	650 W AC 電源モジュール	Cisco Catalyst 9500 シリーズ ハイパフォーマンス スイッチ： C9500-32QC C9500-48Y4C C9500-24Y4C
C9K-PWR-650WACL-R	650 W AC 電源モジュール	
C9K-PWR-930WDC-R	930 W DC 電源モジュール	
C9K-PWR-1600WAC-R	1600 W AC 電源モジュール	Cisco Catalyst 9500 シリーズ ハイパフォーマンス スイッチ： C9500-32C
C9K-PWR-1600WDC-R	1600 W DC 電源モジュール	



注意 ヨーロッパでは、C9K-PWR-650WACL-R をデュアル電源構成で使用する必要があります。C9500-24Y4C、C9500-48Y4C、または C9500-32QC で 1 台の C9K-PWR-650WACL-R を使用すると、予期しない動作やネットワークサービスの中断が発生する可能性があります。このマニュアルと異なる形で C9K-PWR-650WACL-R を使用された場合、シスコは一切の責任を負いません。

ファンモジュール

スイッチは、デフォルトで前面から背面へのエアフローであり、現場交換可能な可変速度モジュール式ファンをサポートしています。これらのファンユニットは最大で120秒まで、活性挿抜 (OIR) を行うことができます。ファンユニットは、シャーシ全体を冷却し、条件がしきい値を超えると、環境モニターとインターフェイスしてアラームを生成します。

次の表では、さまざまなスイッチモデルでサポートされるファンモジュールについて説明します。

表 11: ファンモジュール

製品番号	ファンモジュール	サポートされるスイッチ
FAN-T4-R=	タイプ 4 前面から背面への冷却ファン	Cisco Catalyst 9500 シリーズスイッチ： C9500-12Q C9500-24Q C9500-40X C9500-16X
C9K-T1-FANTRAY=	デュアルスタックファンを備えたホットスワップ可能なファントレイユニットです。	Cisco Catalyst 9500 シリーズハイパフォーマンススイッチ： C9500-32QC C9500-48Y4C C9500-24Y4C
C9K-T2-FANTRAY=	タイプ 4 前面から背面への冷却ファン	Cisco Catalyst 9500 シリーズハイパフォーマンススイッチ： C9500-32C

詳細については、[ファンモジュールの概要](#)を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。